

アレルギー検査について

臨床検査科
安藤 慶

アレルギーとは

アレルギーとは免疫反応の一種であり、その症状の多様性によりI型からIV型のタイプに分類されます。なかでも花粉症でよく知られるI型アレルギーはIgE依存型と呼ばれ、IgE(※)が大きく関与するアレルギー反応です。

(※)IgE

…免疫グロブリン(Immunglobulin:Ig)のひとつで血液、鼻汁、喀痰、腸液等の体液中に存在する蛋白です。この値が高くなるとアレルギー疾患の症状の悪化を示します。

I型アレルギーの種類

春先になると花粉症の方はつらい思いをするかと思いますが、花粉症はI型アレルギーのひとつです。春はスギ、ヒノキ、夏はカモガヤ、秋はブタクサ、ヨモギと季節ごとに花粉症の原因は異なります。花粉以外にもハウスダストや、ダニ、ペット(イヌ、ネコ等)のフケ、真菌、寄生虫、ゴキブリ等が原因で花粉症と似た症状が出たり、慢性鼻炎になったりすることもあります。(表1)

他にも、鶏卵やエビ、カニなどの甲殻類、小麦を摂取することにより引き起こされる食物アレルギーがあります。

表1 季節ごとのアレルギー反応を引き起こす主な因子

	春	夏	秋	冬
スギ、ヒノキ	■	■		
カモガヤ		■		
ブタクサ			■	■
ヨモギ			■	
イネ	■	■	■	■
ハウスダスト	■	■	■	■
ダニ	■	■	■	■

最近だとスーパーで販売されている加工食品の包装にも表示されています。

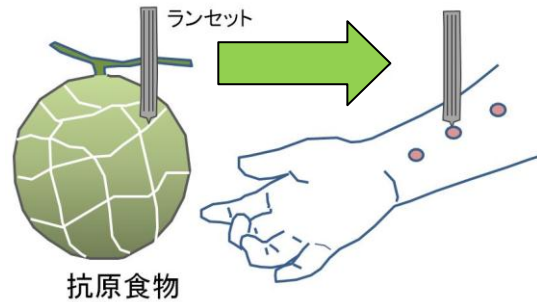
食物アレルギーを起こすと口腔浮腫、嘔吐、下痢、湿疹などを起こし、最悪の場合、意識障害やショック(アナフィラキシー)を引き起こす可能性もあります。(表2)



表2 発症臓器別の食物アレルギーにより引き起こされる症状

発症臓器	症状
消化器	口腔違和感、口腔浮腫、腹痛、嘔吐、下痢
呼吸器	くしゃみ、鼻水、喘鳴、呼吸困難、胸部圧迫感
眼	結膜充血、眼瞼浮腫
皮膚	紅斑、蕁麻疹、湿疹、血管性浮腫
神経	頭痛
全身性	アナフィラキシー

【検査の例】



アレルギー症状を抑えるために

アレルギー性疾患の治療の原則として、原因アレルゲンを避けることが最も重要です。ここまでお話ししたように、アレルギーの原因も症状も色々ありますし、発症するかどうかも人それぞれです。今までアレルギーを起こしたことの無い人もこれから発症する可能性があります。アレルギーをできるだけ起こさない、起こしても悪化させないために、まずは自分が何に対するアレルギーを持っているのか知る必要があります。

調べる方法としては皮膚テスト(プリックテスト)や血液検査があります。ほとんどのI型アレルギーの原因因子は血液検査で調べることができます。院内でもIgEをはじめ、スギ、ヒノキ、ブタクサなどの花粉のほか真菌、イヌ、ネコ、ハウスダスト、ダニ等の吸入性アレルゲン、食物だと卵、牛乳、ソバ、小麦などのアレルゲンを調べることができます。

自身のアレルギーを知ることができれば原因アレルゲンを避けることもできますので、検査を行って花粉症の季節も健やかに過ごしましょう。



外出時の服装にも気をつけましょう